

こおりやま 市議会だより



がくとくんとおんぶちゃん

第189号 - 令和元年6月定例会 -



市民の安全・安心のために
(郡山市消防団ポンプ性能検査)



郡山市

発行日：令和元(2019)年8月1日

発行：郡山市議会

編集：こおりやま市議会だより編集委員会

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

TEL024-924-2521 FAX024-938-2810

メールアドレス

soumugiji@city.koriyama.lg.jp

主な掲載内容

6月定例会のあらまし、常任委員会の審査状況	2頁
議案等の議決結果	3頁
6月定例会市政一般質問	4～10頁
平成30年度政務活動費会派別収支報告	12頁
9月から、議会が変わります！	13頁
9月定例会開催予定	14頁

令和元年6月定例会

園児等の移動経路における安全確保を図る
交通安全施設整備事業を含む補正予算など
議案36件、議会案3件を可決

定例会のあらまし

6月定例会を、6月13日から6月27日までの15日間にわたり開催しました。

初日には、会期の決定、諸般の報告に続き、本年9月定例会からのタブレットの導入等に向けた市議会会議規則の改正など、議案2件を全会一致で可決しました。

その後、市長が提出議案の提案理由について述べました。18日から21日までは、13人の議員が市政一般質問を行いました。

24日と25日は、4つの常任委員会、付託された議案34件と請願3件を慎重に審査しました。

最終日となる27日の本会議では、各常任委員会から審査結果の報告を受け、賛否が分かれた議案等について、3人の議員からそれぞれ賛成・反対の討論がありました。

その後、採決の結果、「郡山市病院条例の一部を改正する条例」など議案24件を全会一致で、園児等の移動経路における安全確保を図る交通安全施設整備事業を含む一般会計補正予算（第2号）など議案10件を賛成多数で可決したほか、請願1件を全会一致で採択し、2件を賛成少数で不採択としました。

また、追加提出された郡山市公平委員会委員の選任等の人事案件2件に全会一致で同意しました。

さらに、福島県主要農産物種子条例の早期制定を求める意見書の議会案1件を賛成少数で否決し、地方財政の充実・強化を求める意見書の議会案1件を全会一致で可決し、全日程を終了しました。

常任委員会の審査状況

審査内容の中から主なものをお知らせします。

総務財政

問 ホストタウン応援事業について、小・中学生30名がオリンピックを観戦するとのことであるが、選考基準等は決定しているのか。

答 今後、観戦チケットの確保状況を踏まえ、募集要項等の詳細を決定し、周知を図っていく。

問 直近の自主避難者数は。

答 全国避難者情報システムによると、令和元年5月1日現在、自主避難者数は3千987名で、そのうち18歳未満は1千449名である。

建設水道

問 園児等の移動経路の安全を図るための交通安全施設整備事業で、市内に防護柵を設置する予定箇所数は。

また、整備を要する箇所が多数となった場合の対応は。

答 交差点10か所への防護柵設置を予定している。

なお、整備を要する箇所が多数となった場合、当該事業に係る既存の予算も活用し、対応していく。

問 全体的な水道使用量は減っているが、流域下水道への流入水量も減少しているのか。

答 流入水量は、県中浄化センターに設置されたメーターで計っているが、合流区域の雨水流入分も含まれるため、水道の使用量だけではなく、気候条件等により毎年変動する。

環境経済

問 農福連携推進事業について、事業実施に向けた受入れ農家と障がい者とのマッチングの見通しと、今後の予定は。

答 市内授産施設から参加の意向を確認し、市内にあるワイン農家等からも受入れが可能であるとの回答を得ており、事業実施は可能と考えている。

今後は、関係者を対象とした講演会を開催し、事業の周知に努めたい。

問 郡山市東部勤労者研修センターに指定管理者制度を導入する理由は。

答 本施設を含め、併設している東部体育館や東部スポーツ広場に加えて、郡山庭球場を一体的に管理運営するため、指定管理者制度を導入するものである。

文教福祉

問 保育施設入所事務RPA―AI―連携システムの導入効果は。

答 保護者への選考結果通知が1週間早まり、また、職員の労働時間が軽減されると考えられることから、その時間を活かして、保護者の窓口相談対応や保育施設のマッチング等に努め、今まで以上に寄り添った対応をしていきたい。

※RPA：パソコンを使う単純作業を自動化するソフトウェア。
※AI：人工知能。

問 幼児教育・保育の無償化において、給食費が実費徴収になることにより、負担が増える場合はないのか。

答 これまで保育料の一部に含まれていた副食費※分については、年収360万円未満相当の世帯は免除となることから、無償化前の保育料と比較して負担が増えることはない。

※副食費：保育所の給食費のうち、おかずやおやつ提供に要する経費。給食費は、ご飯やパンなどの主食費と副食費に分けられる。

議案等の議決結果

賛成は「○」、反対は「×」、会派内で賛否が分かれた場合等は「※」と表記しています。

件名			議決結果	会派の賛否（志翔会は、議長を除く）									
				志翔会	新政会	郡山市議会公明党	社会民主党	日本共産党郡山市議団	虹とみどりの会	無所属の会	新緑風会	創流会	
				14人	8人	4人	3人	3人	1人	1人	1人	1人	
市長提出議案	補正予算	令和元年度一般会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
		令和元年度一般会計（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和元年度国民健康保険特別会計（第1号）	原案可決	※1	○	○	○	×	○	○	○	○	
		令和元年度特別会計（後期高齢者医療（第1号）、介護保険（第1号）、県中都市計画大町土地地区画整理事業（第1号））	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和元年度企業会計（水道事業（第1号）、工業用水道事業（第1号）、下水道事業（第2号）、農業集落排水事業（第1号））	原案可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
	条例	制定	郡山市森林環境譲与税基金条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			不正競争防止法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び公職選挙法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○
			郡山市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一部改正	子ども・子育て支援法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市職員の育児休業等に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市税条例等	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市手数料条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市印鑑条例及び郡山市手数料条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市勤労者研修センター条例	原案可決	○	○	○	×	○	×	○	○	○
			郡山市病院条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市国民健康保険条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市国民健康保険税条例	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
			郡山市介護保険条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市上下水道事業の設置等に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市水道事業給水条例及び郡山市簡易水道条例	原案可決	○	○	※2	×	×	×	○	○	○
			郡山市図書館条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			財産取得	ノートパソコン、モバイル型シンクライアント端末機、小型動力ポンプ積載車	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
	財産の減額貸付	旧郡山市立大田小学校	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人事案件	郡山市公平委員会委員の選任、郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	その他	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	請願	福島県主要農作物種子条例の早期制定の意見書提出を求める請願	不採択	×	○	×	○	○	○	×	○	×	
		国に対し「国民健康保険税引き下げのため国庫負担の増額を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択	×	×	×	○	○	○	○	×	×	
		地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	委員会提出議案	郡山市議会会議規則の一部を改正する規則、郡山市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		福島県主要農作物種子条例の早期制定を求める意見書	否決	×	○	×	○	○	○	×	○	×	
		地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※1 賛成13、反対1 ※2 賛成3、反対1

■なお、各議員の賛否は市議会ウェブページを御覧ください。

令和元年6月定例会

市政一般質問

13人の議員が市政について質問しました

それぞれのQRコードから質問者の録画中継が御覧いただけます。



質問議員順に、質問の通告時間が30分以上は3項目、30分未満は2項目を掲載しています。掲載の質問・答弁内容は要約していますので、詳細は会議録または議会中継を御覧ください。

5月1日から9月30日までの間、クールビズを実施しています。



志翔会

さとう えいさく
佐藤 栄作 議員

通告時間…30分



水素・燃料電池展示会の開催について

問 戦略的な企業誘致を進めるうえで、ビッグパレットふくしまを会場に、本市が主体性をもって、全国の水素関連企業やドイツ、エッセン市に協力要請し、ドイツの水素関

連企業に出展してもらい、水素・燃料電池展示会開催を計画、推進すべきでは。

答 ふくしま再生可能エネルギー産業フェアが、県等の主催でビッグパレットふくしまにて開催され、水素・燃料電池・蓄電池分野の企業やドイツなど海外からの出展のほか、国の水素に関するセミナー等も行われている。

本市では、本出展会を、水素・燃料電池も含めた再生可能エネルギー周知・普及のための絶好の機会と位置づけ、主体性をもってマッチングや商談を促進していきたい。

新たなアクセス道路の整備計画について

問 福島空港県中・県北方部アクセス道路整備促進期成同盟会の本年度国予算概算要求の要望箇所は、市内は西田町地内の拡幅改良整備だが、現広域農道の活用ではなく、新たに郡山東インターチェンジから福島空港までの4車線道路整備計画を、こおりやま広域連携中枢都市圏構成市町村と推進し、要望すべきでは。

答 本会要望の既存道路を有効活用したアクセス道路は、本市のほか、石川町や玉川村に未整備区間があり、広域連

相談体制について

携中枢都市圏内の交流促進等を図るうえからも、早期の全線整備に向け、国等関係機関に対し、継続的に要望しており、新たなアクセス道路整備計画は、要望路線の整備完了後、福島空港利用状況等総合的観点から検討するよう、国等関係機関に求めている。

問 様々な悩みを抱えている子どもたちのSOSに対し、しっかりとした相談体制の確立が重要だが、本市の、子どもたちのSNS使用により発生するいじめや様々な悩みに

対しての相談体制は。

答 本市では、定期的にいじめ・悩みごと調査を実施し、その解決のため、延べ35名のスクールカウンセラーを中心に、教職員の組織的相談体制を整えているほか、本市独自の、弁護士に相談できるいじめ法律相談ホットラインを開設するとともに、児童相談所等15か所の相談窓口を明記したリーフレットを、全家庭へ配布及び校舎内に掲示し、周知を図っている。

掲載以外の質問項目

○ 県養鶏分場跡地、県農業試験場跡地の開発について

問 市内の特別支援学級は毎年増えているが、子どもの状態には差も多く、教員加配や支援員等配置が必要である。しかし、支援学級の増加に配置が追い付かず、支援員等



日本共産党郡山市議団
たかはし よしはる
高橋 善治 議員
通告時間…15分

特別支援学級の支援員等配置状況の改善について

答 特別支援教育の充実には、様々な手立てを講じてきたが、補助員についても、一人でも多い確保に向けて努める。雇用形態は、今後導入する本市の会計年度任用職員制度に基づき、見直しを図る。また、現在、国の補助金等を活用しており、今後も中核

問 国保税は、被保険者の負担能力に応じた所得割と一律の均等割、平等割で、被保険

の配置率が低下している。そこで、配置率100%の実現や、必要に応じた教員等の複数配置、雇用形態を臨時雇用から嘱託職員にしてはどうか。また、予算措置について国庫補助制度の必要性への認識と今後の働きかけは。

答 市教育長会等で、国の財政措置等を引き続き要望していく。市の財源措置による均等割、平等割の廃止について、今年度の国民健康保険税は基金繰入れにより据置きとなったが、依然として高い国保税の実態に変わりはない。持続可能な国保制度にしていくうえで、税負担能力と関係なく賦課される平等割、均等割の課税方法を、国による財源確保で廃止することが重要だと思が見解は。

掲載以外の質問項目
○イノシシ被害対策の拡充について
○使用料、手数料の見直しについて

者負担の公平性を担保していると認識しており、現行制度の運営が適切と考えるが、持続可能な制度となるよう引き続き国に公費拡充を要望する。

問 子どもの貧困対策推進法の改正により、子どもの貧困対策の計画策定が市区町村の努力義務とされたが、ニコニコ子ども・子育てプランの第二期計画で、子どもの貧困対



社会民主党
やえがしざ よこ
八重樫小代子 議員
通告時間…30分

子どもの貧困対策について

問 有料老人ホーム等に入ることのできない所得等の少ない要介護者やその家族の入所要望を市が分析し、特別養護老人ホームの増設など、介護

する人、される人に配慮した今後の対応策は。

問 高齢者健康長寿サポート事業のメニュー改善について

答 計画策定には、子どもの貧困対策に関する大綱を勘案した成果指標等を設定する必要があることから、小学生以下の保護者を対象に実施したニーズ調査により子どもの貧困の実態把握を行っており、更なる調査検討を進め、第二期計画の中に位置づけていく。待機解消に向けた今後の対応策について

答 郡山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画における2018年度から2020年度までの第七次期間中、要介護3以上の認定者数が60人、約13%の増加と見込まれる中で、地域密着型を含む特別養護老人ホーム3施設118床の整備と代替となる介護サービス事業所の整備を進めている。今後は、次期計画策定の中で、在宅介護実態調査などを踏まえ、代替となる各種介護サービスの利用状況、施設整備による介護保険料への影響

問 高年齢者健康長寿サポート事業全体の助成額は、平成29年度は2億2千337万円だったが、平成30年度の助成実績の額は。

答 昨年度助成額は2億3千990万円、事業開始年度と比べ4年間で30%増加している。メニュー改善については、今後、高齢者数の確実な伸びが見込まれる中、高齢者施策全体について、限られた財源のもと、持続可能なものとなるよう、本年度中に見直しを行う中で検討する。

掲載以外の質問項目
○SDGs※未来都市に関して
○保育に関して
○男女共同参画について
○楽都郡山に関して
※SDGs「持続可能な開発目標」：2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。

議会の豆知識①

●会議規則とは

本会議や委員会の議事手続き、請願・陳情、議員の懲罰に必要な事項等を定めた規則で、その改正等には、議会の議決が必要です。地方自治法により必ず設けることとされており、議員や第三者に対する拘束力もちます。

※関連項目：定例会のあらまし(2頁)、議案等の議決結果(3頁)



創流会
おおしろ ひろゆき
大城 宏之議員
通告時間…30分

旧豊田貯水池の跡地利用について

問 2年前の公有資産活用検討特別委員会において、跡地の一部を駐車場や自由広場等として暫定利用を提言した。豊田浄水場が廃止されてから6年が経過し、「課題解決

先進都市2.0」の実現を目指す本市として、今後どのような活用を検討しているのか。

答 跡地の利活用の検討は、提言を参考にまちづくりの方向性やSDGsと整合を図りながら進めていく。

このため、庁内に郡山市旧豊田貯水池利活用検討推進本部を設置し、専門的見地から都市計画などの専門家で構成する旧豊田貯水池利活用懇談会を開催する。

また、コンサルタント会社へ委託し、今後、庁内の検討及び専門家の意見を取りまとめ、年内に整備計画のたたき

台となるイメージ案を示したい。

ごみ処理の有料化について

問 一般家庭用ごみ処理の有料化について検討に入るべきと考えるが見解は。

答 ごみの減量化を推進するために、ごみ処理の有料化は、最終処分場の延命化やCO2等の温室効果ガス排出量の削減に繋がると考える。

平成30年1月には郡山市廃棄物減量等推進審議会から、生活系ごみの適正負担を推進すべきとの答申を受けており、有料化の有無及び手法を含め、

ごみ処理費用の負担の在り方について検討する。

郡山総合体育館の今後の改修について

問 スポーツ関係者や利用者、来訪者から体育館の床やトイレの改修の要望が数多く寄せられており、以前、市政一般質問で見解を伺った。

その後も要望の声が強く、必要性が高まっているため、改修に向け検討すべきでは。

答 宝来屋郡山総合体育館は、昭和49年の建設後、トイレの一部洋式化や耐震化工事、各種改修工事を行ってきたが、40年以上経過した施設であり、

更に長寿命化を図るために全体的な再整備箇所を把握する必要がある。

また、施設の改修は郡山市PFI※ガイドラインによりPFI導入を検討するため、郡山総合運動場の他施設と併せて、劣化状況等の調査結果を踏まえ、適切な施設の改修方法を検討する。

※PFI：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する手法。

掲載以外の質問項目

- 郡山市総合地方卸売市場の今後について
- 国際交流の推進について
- 市民の安全・安心について



日本共産党郡山市議員
いわさき まりこ
岩崎 真理子議員
通告時間…30分

安全・安心の保育体制の確保について

問 安全・安心の保育所体制を整え、施策拡充を図るよう国に求めることへの見解は。

また、財政調整基金等の活用により、施設増設と処遇改善で保育士確保・増員を図り、

待機児童解消に積極的に取り組む必要があるが見解は。

答 平成27年度施行の子ども子育て支援新制度では、「すべての子ども・子育て家庭を対象に、幼児期の学校教育・保育等の質・量の拡充を図る」

ことが示され、本市では、待機児童解消に向け、民間認可保育所等の整備や保育士の処遇改善など、質・量ともに安全・安心な保育体制確保に取り組んでいる。

これらの取組みを進め、より一層の充実を図るためには、国の安定的な財源確保が重要となるため、全国市長会等、

運営体制の充実について

問 放課後児童クラブの今後の運営について、子どもの充実した生活と保護者の安心と

支えになるよう職員配置等、運営体制の充実を更に推進すべきと考えるが見解は。

答 支援員は児童数による基準に応じ配置し、特に支援が必要と判断される児童がいる場合等、状況を勘案し、必要

人員を加配している。

運営体制の充実には、支援員の資質向上が不可欠であり、本市では、独自の研修実施など、様々な研修機会の充実に努め、資質向上による運営体制充実に努めている。

加齢性難聴の補聴器購入補助について

問 加齢性難聴に、補聴器は、高齢者が社会で活躍、働く際必需品になる。

答 国や県に対し、加齢性難聴への補聴器購入補助制度創設を求めると同時に、本市独自の補助制度を求めるが見解は。

国では昨年度から、補聴器を用いた聴覚障害補正による認知機能低下予防効果検証の研究を進めており、国、県への補聴器購入費補助制度の創設要望は、これらの結果も注視し検討していく。

また、市独自の補聴器購入助成については、対象者の範囲や購入後のメンテナンス対応等の課題があることから、豊島区等の導入自治体の調査も行いながら、助成制度の有効性を検討していきたい。

掲載以外の質問項目

- 原券問題について
- 安心して利用できる介護保険に

結婚支援について



新政会
あいた かずお
会田 一男議員
通告時間…30分

問 こおりやま広域圏連携事業として、対象を限定しない出会いの機会を創出する事業に取り組むことで、圏域内の人口還流にもつながると考えるが見解は。

答 農業後継者縁結び推進事業や、青年層の交流の場として、35歳までの独身男女を対象としたユースカレッジ木曜クラブの開催などを通して、出会いの場を提供してきた。

また、ふくしま結婚・子育て応援センター実施の「世話やき人」の活用や、結婚マツチングシステム「はぴ福なび」の市内出張登録会への協力など、県と連携した結婚支援にも取り組んでいる。

こおりやま広域圏においても、婚活支援事業を連携事業に位置づけており、今後も結婚支援に取り組んでいく。



虹とみどりの会
へびいし いくこ
蛇石 郁子議員
通告時間…20分

要望とその対応について

問 各放課後児童クラブと地域子ども教室からの施設等にかかる環境整備の要望に、どのように取りまとめ、現場確認をしているか。
また、昨年度の対応状況と

今年度の予定は。

答 各クラブの支援員等から修繕要望等をあげてもらうとともに、巡回指導員が毎月訪問し、施設の状況把握や要望確認などを行っている。

昨年度は、トイレ修繕など優先度の高い箇所から着手し、全体で66件の修繕を行った。

今年度も、緊急性と財政的制約なども考慮したうえで、要望等を相対的に判断し、優先度の高い順に対応していく。

農薬の危険性について

問 国際がん研究機関が、毒性や発がん性の懸念があると

国道288号富久山バイパスの渋滞解消について

問 富久山バイパスの4車線化延長の早期実現について、国・県に強く働きかけを行うべきと思うが見解は。

答 本路線は、県が平成11年度から事業に着手し、平成21年度に、一部暫定2車線で供用を開始、昨年度は、全線4車線化に向けて、富久山大橋北側に残りの上部工を設置するための設計委託など、事業が進められている。

本年5月には、国に本路線の未整備区間の早期整備の必要性や、地域間交流の更なる

しているグリホサートを含む除草剤が販売されている。

また、神経毒、残留性、浸透性の特性を持つネオニコチノイド系農薬は生活のあらゆる場面で害虫防除として使用されている。

これらの農薬の危険性について、どう認識しているか。

答 農薬の製造、販売については国の登録制度であり、農薬取締法等で規制されている。

これらの農薬は広く使用されているが、対象となる作物や希釈倍数、散布量等が定められており、本市としては、農業従事者に対して、法令等

推進、都市内環状機能の強化など整備の意義を伝え、併せて重要物流道路の代替・補完路への追加指定を要望した。

今後、国・県等関係機関に積極的に働きかけていく。

安定した就労環境の確保について

問 結婚し、安心して子どもを産み育てられる条件は、正規雇用であり、安定した収入による将来設計が可能であることが結婚の条件となつてしまつことも否めない。

今後、労働力人口の減少が見込まれる中、安定した就労環境の確保のため、行政が各

に基づき使用方法を指導しているため、使用者は周辺環境に配慮しながら、適正に使用しているものと認識している。

掲載以外の質問項目

- 原子力災害対策について
- 熱中症と紫外線対策について
- 包括外部監査報告書について



議会の豆知識②

●意見書とは

公益的な事項について、国や県に対する議会の意見として提出する文書をいいます。

住民の請願を議会が採択した場合や、議会独自の意思により国政に反映させたい場合などに、意見書の提出を行います。

※関連項目：議案等の議決結果(3頁)、
請願書・陳情書の提出(11頁)

掲載以外の質問項目

- 学術機関との連携について
- 地域活力の維持について

答 企業の正規雇用の促進を働きかけるべきでは。

育児フレックスタイム制や男性の家事育児参画の推進などにより、ワーク・フォールライフへ発想転換するよう、市内経済団体に対し要請した。

また、働き方改革関連法の順次施行内容や、有期契約労働者の無期転換ルール適用などの周知・啓発を行った。

今後も各種調査から実態を把握し、適宜的確に対応する。



郡山市議会公明党
ただの みつお
但野 光夫議員
通告時間…30分

郡山駅前駐輪場の利用開始時間について

問 磐越東線始発電車で部活動の朝練のため通学する高校生が、駐輪場に自転車止められないとの声があるが、解決策とともに見解は。

答 郡山駅前駐輪場は、西口



志翔会
かわまえ みつり
川前 光徳議員
通告時間…30分

気象状況の変化に伴う浸水対策について

問 5月15日に降った局地的な雨は、1時間換算で100mm以上の猛烈なものであった。本市はこうした気象変化に伴う雨量の増加に合わせ、国の100mm/h安心プランに登録

第一、西口第二、東口の3か所で運営を業務委託している。開場時間は午前6時となっており、郡山駅の始発電車は磐越東線の午前5時30分であるため、これに合わせるには職員の出勤時間を早める必要がある、大変厳しい労働条件となることから、現時点では利用時間の変更は考えてない。

がん教育について

問 茨城県ひたちなか市では中学生に、放射線医師による授業が実施されている。本市も、中学校で医師によるがん教育を実施し、若い世

代の理解を深め、さらには保護者へも波及する取組みが必要と考えるが見解は。

答 児童生徒が、がん教育を通じて健康等を考えることや、がんに関する正しい知識を身につけることは、がんの予防及び早期発見に大変重要であり、平成29年度に本市独自のがん教育指導資料を作成した。各学校においては、学校医の指導や助言のもと、資料を活用した教育を実施しており、県が新たに立ち上げたがん教育実践事業の活用や学校医等とより一層の連携を図り、がん教育の充実に努める。

旧国道4号沿線の浸水対策について

問 5月の集中豪雨では床上床下浸水の被害が発生した。浸水地区住民は土のうと止水板で対応しており、「ちゃんとした浸水対策を」と異口同音に訴えているが見解は。

答 駅前周辺の下水道は、汚水と雨水を1つの管で排水する合流式であり、排水能力が1時間当たり35mmのため、特に雨水の集まる堂前、駅前周辺は、他の区域と比べ浸水被害が発生しやすい状況にある。ゲリラ豪雨対策9年プランに駅前周辺地区等を位置付け、

校、中学校4校で活用している。

母子生活支援についてのニーズ調査について

問 第27回郡山市子ども・子育て会議で、母子生活支援のニーズ調査を行うと報告されたが、課題解決のためには、在宅サービスでいいのか、母子生活支援施設のような常時寄り添って見守る施設が必要なのか、その判断は、今回調査のニーズを踏まえたうえで、専門的な知見をもって臨んでいただきたいが考えは。

答 今回のニーズ調査は、今後、ひとり親家庭の生活支援

1時間当たり74mmを対象降雨とし、雨水貯留施設等のハード対策及びソフト対策等により、浸水被害を最小限にする計画で、令和4年度の完成を目指している。

また、連携協定を締結した日本大学工学部が構築を進めている合流式下水道区域の雨水氾濫シミュレーション等のデータを活用し、より効果的な浸水対策に繋げていく。

掲載以外の質問項目

- 財政運営と財源確保について
- 町内会等地域組織について
- 子ども施策について
- 公共交通について

のあり方を広く検討するためのニーズ把握を目的とするもので、現在の生活状況や悩み、不安ごとに加え、支援策としての住居提供や児童虐待・DV被害者への対応等の項目が想定されるが、詳細は、次回の子ども・子育て会議で協議のうえ決定したい。

なお、調査で得た情報を検証・分析し、母子生活支援全般のあり方を、子ども・子育て会議の中で検討していく。

掲載以外の質問項目

- 第2層協議体の今後の事業展開について
- 受動喫煙対策について

問 郡山駅東口を含む東部地域は主に、農林業を主な産業とする中山間地域であり、少子高齢化や人口減少の傾向が強まっており、地域産業やコミュニティの再生、活性化に

現状と今後について



新政会
おりかさ 折笠 正議員
ただし
通告時間…30分

問 地域では、この土地の有効活用について大きな期待を抱いているが、市民のための施設整備による土地の有効活用を検討しては。

県との使用貸借契約期間



志翔会
こんない とし お 近内 利男議員
通告時間…30分

緑ヶ丘東七丁目市有地の活用について

が今年度末で満了となることから、公有資産活用調整会議で、当該土地の現状について共有を図るとともに、今後の活用可能性について全庁的に検討を開始した。

郡山市公共施設等総合管理計画では、総量縮減の考え方を基本に、施設の複合化や集約化を進めることとしており、公有資産活用ガイドラインでは、利用計画が定まらない財産は、売却による処分を行うことを基本としている。

これらを踏まえるとともに、住民ニーズを的確に捕捉しながら総合的な視点で検討する。

向けた戦略的な地域づくりが求められている。

この現状をどう捉え、今後どのようにしていくのか。

答 水郡線及び磐越東線が横断し、磐越自動車道の郡山東インターが立地するなど、交通の要衝でもある東部地域は、こおりやま広域圏の各市町村相互の境界地であり、その中心エリアとしての役割を担うものと認識している。

こうした地域における生活圏・文化圏及び経済圏にマッチした交易、交通、通信を活性化させ、市町村の枠にとられない地域振興と、本市の

公民館の貸館機能の改善について

問 公民館は、第3日曜日が一斉に休館日となっており、貸館として使用できないが、市民がいつでも貸館利用できるようにできないか。

答 地域や各種団体が実施する発表会、地域行事の開催等に当たっては、公民館休館日の第3日曜日を臨時的に開館し、弾力的運用を図っている。

安積・富久山の総合学習センター及び熱海多目的交流施設「ほっとあたま」は、第3日曜日を開館しており、今後も、市民に有効活用されるよう

今後の取組みについて

将来構想実現に向け、今後も公民連携のもとで取り組んでいく。

問 不審者による子どもへの声かけ事案が連続して発生しており、セーフコミュニティの国際認証を受けた本市として、子どもたちの安全・安心を確保するために今後どのような取組みをしていくのか。

答 関係機関等との連携に加え、防災メールマガジン等による情報発信など、部局横断的な取組みも必要になってくることから、今後、セーフコ

う周知啓発に努めるとともに、休館日の臨時的開館についても柔軟な対応をしていく。

答 昨年、本市と猪苗代町の歴史研究団体で組織された「戊辰戦争150年会津藩母成峠陣跡保存会」から県の史跡指定に向けた要望を受けたことから、母成峠陣地の土地管理者である国及び県に相談するとともに、史跡を共有する猪苗代町と情報交換を行った。

今後、同保存会や関係機関と連携しながら、県への働きかけを行う。

問 磐梯熱海地区は温泉施設のほかに、沼上発電所などの日本遺産構成文化財、ケヤキの森散策路などがあり、その熱海地区から中ノ沢温泉をつなぐ母成グリーンラインの母成峠には、大規模な戊辰戦争の陣地の遺跡である砲台跡、防塁跡、塹壕跡がある。

歴史的にも貴重な陣地跡を、福島県文化財の史跡指定として働きかけるべきでは。

掲載以外の質問項目

- 上下水道事業について
- 図書館行政について
- 市民の心身の健康について

コミュニティ推進協議会と連携し、児童生徒の安全を最優先に、全市的な取組みとなるよう努める。

また、各学校に対しては、防犯ブザー携行の徹底や、防犯教室等を通じた危険を予知回避・対処する能力等の育成、さらには、保護者会等を通じた子どもの安全確保の協力依頼等について助言していく。

電気柵、箱ワナの要望件数、設置件数等について

問 農作物等への鳥獣被害防止のための昨年度における電気柵、箱ワナの要望数、設置件数及び今後の計画は。

答 昨年度における電気柵については、56地区、総延長約69kmの要望に対し、全ての地区に要望どおり設置した。

また、箱ワナについては、イノシシ用10基、クマ用2基、ハクビシン用33基の設置要望があり、全て対応した。

今後、郡山市鳥獣被害防止計画に基づいて整備し、鳥獣対策に取り組んでいく。

掲載以外の質問項目

- ひきこもり対策について
- まちづくり対策について
- 空き家対策について
- 農水産物の安全・安心のPRと販路拡大について



社会民主党

ひだ よしあき
飛田 義昭議員
通告時間…30分



ふるさと森スポーツパークソフトボール場の整備について

問 以前も指摘したが、平成5年に供用開始したふるさと森スポーツパークソフトボール場2か所の整備状況と今後の改修・改善対策は。

答 西側コートが長年の使用から表土の劣化で埃が立ちやすく、水みちが発生しており、プレーに支障をきたす恐れがあったため、本年5月に内野全体の表層土の撤去及び良質土の補充を行い、外野の一部にも良質土を補充し、整地した。今後も、大会等が安全に行われるよう良好なグラウンドの維持に努めていく。

中小零細企業者に対する対応について

問 本市の企業状況は中小零細企業が中心であり、対策や支援を行ってきた。これまでも非正規労働者を

増やさない対策や市役所で働く非正規労働者の処遇改善を求めてきたが、国の「働き方改革関連法」の施行により、中小零細企業者に対して、何らかの対応を図る考えは。

答 厚生労働省と中小企業庁が本年3月に作成した働き方改革好事例集や支援策をまとめた働き方改革支援ハンドブック等の周知を郡山商工会議所など4団体に依頼したほか、市メールマガジンや情報紙、ウェブサイトへの掲載等により周知・啓発を行った。

また、大企業と中小企業で働き方改革関連法の適用開始

備等の要望が出されている。市として早急に対処すべき

と思うが見解は。

答 郡山市通学路交通安全プログラムに基づき実施した、合同点検及び対策の検討結果を受け、対策が必要な約230mについて、水路の蓋掛けで歩行空間が確保できる約80m区間は、今年度、秋の稲刈り後、改修工事に着手する。

問 喜久田町堀之内地内を通る市道南柵内千杯田線は、西部第二工業団地方面への抜け道となり、小・中学生の通学が非常に危険にさらされており、早急な道路拡幅と歩道整

市道南柵内千杯田線の拡幅について



志翔会

おおうち よしあき
大内 嘉明議員
通告時間…30分



中高一貫校の設置について

問 進学に重点を置いた県立中高一貫校の中通りへの新設方針が、県から出されたが、本市への導入に向け、県と積極的に協議すべきと考える。

その上で、交通利便性を活かし、過去の東海大学誘致活動の経緯からも、北部地域への設置を協議すべきでは。

答 子どもたちの進路選択の幅が広がるメリットや、本市学校教育全体の更なる充実につながる可能性もあり、引き続き情報収集に努めるとともに、県に要望書を提出した福

時期が異なるため、引き続き周知・啓発を行っていく。

保育士の処遇について

問 保育士の月給は全産業平均より約10万円低く、なり手不足で現場は疲弊していると新聞記事になっていた。

市立保育所で働いている正規一般保育士の平成29年度と平成30年度分の平均給料月額と、フルタイムの臨時保育士の賃金を月額に換算した額は。

答 係員相当の正規一般保育士の平均給料月額は平成29年度26万3千981円、平成30年度は平均年齢が0.7歳低くなった

影響から25万8千75円となっている。

フルタイムの臨時保育士が月20日間勤務した場合の月額の賃金は、平成29年度15万2千円、平成30年度15万4千円となっており、平成30年度からクラス担任を持つフルタイムの臨時保育士に月額200円の手当てを加算したことから、この場合は15万8千円となる。

掲載以外の質問項目

○ 市民の安全・安心対策について

○ 空き家対策について

○ 熱海地区の活性化について

を中心に、猪苗代湖をはじめ、熱海地区の沿上発電所等の構成文化財を巡る歴史的魅力度験観光周遊ツアーの開催等、観光誘客を推進している。

熱海地区は、構成文化財以外にも魅力ある観光資源を有しており、他地域の魅力ある観光資源等と関連付けながら、ニーズに合わせた新たな観光ルートを造成し、更なる観光誘客を推進していきたい。

掲載以外の質問項目

○ インランド・デポ（内陸貿易港）について

○ 各種行事における駐車場対策について

市議会ウェブページ

郡山市議会では議会をより身近なものとしていただくため、郡山市ウェブサイト内に市議会のページを開設しており、本会議や委員会の会議録、市議会中継などが御覧になれます。

詳しくは郡山市ウェブサイトのトップページから「郡山市議会」をクリックするか、「郡山市議会」で検索してください。

郡山市ウェブサイトアドレス

<https://www.city.koriyama.lg.jp/>

郡山市議会

検索



市議会ウェブページ
QRコード



議員表彰

本年6月11日に開催された第95回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたる地方自治発展への尽力に対し、次の議員が表彰されました。

議員20年以上表彰

岩崎 真理子	議員
今村 剛司	議員
遠藤 敏郎	議員
大内 嘉明	議員
鈴木 祐治	議員



「こおりやま市議会だより」は、行政センター、公民館、図書館などの公共施設に配置してあります。

また、視覚が不自由な方のために「こおりやま市議会だより」の点字版・音声版を発行しています。

請願書・陳情書の提出

請願・陳情は、市議会に対して、いつでも、どなたでも行うことができます。

□提出方法について

請願書・陳情書は次の要領で提出してください。

(1) 請願には、1人以上の市議会議員の紹介が必要です。紹介議員の署名又は記名押印を受けてください。

なお、陳情には、紹介議員は必要ありません。

(2) 一つの案件につき、一つの請願書（陳情書）が必要になります。

(3) 請願書（陳情書）は、A4判の用紙に横書きし、できる限り邦文（点字を含む）で提出してください。

やむを得ず外国語を用いる場合は、訳文も同時に提出してください。

(4) 文書の記載内容

◇提出年月日

◇請願者（陳情者）の住所（法人の場合には、その所在地）、氏名（法人の場合には、その名称及び代表者名）を記載し、押印

◇請願（陳情）の件名

◇請願（陳情）の趣旨

◇請願（陳情）の事項

(5) 提出部数は1部です。

なお、道路などに関するものは、現地の略図を添付してください。

□受付について

請願・陳情は、議会の開会中、閉会中を問わず常時受け付けています。

ただし、定例会中に審議を希望する請願の受付は、市政一般質問初日の午後5時までです。

これを過ぎると次の定例会での審議となります。

また、定例会中に議員へ陳情書の写しの配付を希望する場合の陳情の受付は、開会日翌日の午後5時までです。

開会日翌日が土・日曜日及び祝日の場合は、翌日以降の直近の開庁日になります。

□取扱いについて

請願は、関係する委員会に付託され、審査し、その内容が妥当と認められるものは採択の上、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過及び結果の報告を求めます。また、国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。陳情は、陳情書の写しを各議員に配付します。

平成30年度政務活動費会派別収支報告

政務活動費は、議員の調査研究活動に必要な経費の一部として、「地方自治法第100条第14項から16項」及び「郡山市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、会派(所属議員が1人の場合を含む。)に交付しています。

なお、政務活動費は、条例及び「郡山市政務活動費の手引き」に従って支出され、すべての支出には領収書を添付した報告書の提出が義務付けられています。

※収支報告書、現金出納簿や領収書等の写しは、市政情報センター(西庁舎1階)で縦覧できます。

【平成30年度政務活動費会派別収支報告一覧表】

(単位：円)

会派名 項 目	志翔会 (15人)	新政会 (8人)	郡山市議会 公明党 (4人)	社会民主党 (3人)	日本共産党 郡山市議団 (3人)	虹とみどりの会 (1人)	無所属の会 (1人)	新緑風会 (1人)	創流会 (1人)
会派への交付額	19,200,000	9,600,000	4,800,000	3,600,000	3,600,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
支 出 額	17,245,256	8,020,947	4,318,091	3,389,082	3,511,556	1,193,706	1,060,925	934,085	897,721
支 出 内 訳	調査研究費	8,857,670	1,181,100	370,780	401,700	0	0	148,250	103,890
	研修費	924,612	3,654,588	1,169,362	0	0	0	82,060	24,540
	広報費	4,317,896	2,153,736	1,291,047	2,781,504	1,517,820	993,600	865,728	570,518
	広聴費	0	0	0	0	1,443,711	0	0	0
	要請・陳情 活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	435,069	85,712	28,010	9,272	2,026	2,878	96	24,814
	資料購入費	915,395	419,961	443,766	115,914	185,975	174,678	165,621	123,854
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	1,458,981	141,723	701,302	1,512	43,951	22,550	29,576	24,300
	通信運搬・ 自動車燃料費	335,633	384,127	313,824	79,180	318,073	0	22,209	100,396
差し引き額 【市への返還額】	1,954,744	1,579,053	481,909	210,918	88,444	6,294	139,075	265,915	302,279
会派執行率 (%)	89.82	83.55	89.96	94.14	97.54	99.48	88.41	77.84	74.81

※所属議員1人当たり月100,000円を会派に交付。

※会派名、所属議員数は、平成30年度末時点のものです。

議会の傍聴

議会の傍聴は、市政の運営を知り、市民の皆さんが選んだ議員の活動状況などを理解する一つの方法です。
議会はどなたでも傍聴することができ、お気軽にお越しください。

本会議を 傍聴するには

・会議の開始30分前から、西庁舎7階の傍聴受付で先着順に受け付けます。
(通常は午前10時開会)

・定員は74人です。
・車いすの方、難聴の方の席があります(補聴支援システムがあります)。
・団体で傍聴される場合は、住所、氏名を記載した名簿をお持ちください。

委員会を 傍聴するには

・会議の開始40分前から20分前まで、西庁舎6階の議事事務局で受け付けます。
(通常は午前10時開会)

・各委員会の定員は15人です。
・傍聴希望者が定員を超えた場合、受付終了後に抽選を行い、傍聴者を決定します。

傍聴の際 御注意いただきたいこと

受付時にお渡しする傍聴券の裏面に「傍聴人心得」が記載されていますので、その記載事項を守って傍聴してください。

なお、次のことについては、特に御注意ください。
・携帯電話、その他音の発生する情報通信機器は、電源をお切りください。
・会議の妨げとならないよう静かに傍聴してください。
・写真撮影や録音はお断りしています。



9月から、議会が変わります！

スケジュール・目安時間が明確に

現行	
1人目	
休憩15分	
2人目	
昼休憩60分	
3人目	
休憩15分	
4人目	

2人目以降がいつ始まるかわからない

9月定例会から	
〔市政一般質問のイメージ〕	
1人目	10:00～11:00
休憩15分	
2人目	11:15～12:15
昼休憩60分	
3人目	13:15～14:15
休憩15分	
4人目	14:30～15:30
休憩15分	
5人目	15:45～16:45

※関連質問の実施等により、変動があります。

市政一般質問
質問・答弁合わせて
1議員60分

代表質問
質問・答弁合わせて
交渉会派: 1会派80分
非交渉会派: 1会派40分

スケジュールが
明確になります♪

現行方式	
議員	当局
質問1 学校教育について	
質問2 道路拡幅について	
質問3 SDGsについて	
答弁1 学校教育について	
再質問1 学校教育について	
再答弁1 学校教育について	
答弁2 道路拡幅について	
再質問2 道路拡幅について	
再答弁2 道路拡幅について	
答弁3 SDGsについて	

OR

一問一答方式	
議員	当局
質問1 学校教育について	
答弁1 学校教育について	
再質問1 学校教育について	
再答弁1 学校教育について	
質問2 道路拡幅について	
答弁2 道路拡幅について	
再質問2 道路拡幅について	
再答弁2 道路拡幅について	
質問3 SDGsについて	
答弁3 SDGsについて	

一問一答方式との選択制で よりわかりやすい会議へ

現行方式 議員は全ての項目を始めに一括して質問しています。その後、質問項目ごとに答弁を受け、再質問をします。

9月からはいずれかを選択します

一問一答方式 1つの項目について質問、答弁が終わった後に次の項目に入ります。この方式は、質問と答弁の関係が明らかで、内容を理解しやすくなります。

タブレットを導入

タブレットの導入により、

- ペーパーレス化の推進
- 情報発信の強化
- 災害時の迅速かつ効率的な議会活動への活用

など、議会の充実が図られます。



その他の変更事項等

- 委員会における協議の中で、委員同士の討議が実施可能となり、委員会での協議が更に充実。
- 常任委員会における事業の進ちょく等の聴取、評価を行うPDCAサイクルを実施。
- 議会BCP（業務継続計画）を策定したことによる、災害時における議会機能維持の強化。

9月定例会開催予定

9月定例会は、9月17日からの予定です。
なお、正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更となる場合があります。

9月 17日〔火〕 本会議一開会 18日〔水〕 議案調査(休会)※陳情締切 19日〔木〕 議案調査(休会) 20日〔金〕 事務整理日(休会) 21日〔土〕 休会 22日〔日〕 休会 23日〔月〕 休会 24日〔火〕 本会議(市政一般質問) ※請願締切 25日〔水〕 本会議(市政一般質問) 26日〔木〕 本会議(市政一般質問) 27日〔金〕 本会議(市政一般質問・ 決算特別委員会設置) 28日〔土〕 休会 29日〔日〕 休会 30日〔月〕 常任委員会	10月 1日〔火〕 常任委員会 2日〔水〕 事務整理日(休会) 3日〔木〕 本会議(補正予算等先議) 4日〔金〕 決算議案書熟読日(休会) 5日〔土〕 休会 6日〔日〕 休会 7日〔月〕 決算議案書熟読日(休会) 8日〔火〕 決算議案書熟読日(休会) 9日〔水〕 決算特別委員会 10日〔木〕 決算特別委員会 11日〔金〕 決算特別委員会 12日〔土〕 休会 13日〔日〕 休会 14日〔月〕 休会 15日〔火〕 決算特別委員会・本会議一閉会
--	--

・ **本会議**の様子をインターネットで生中継いたします。

・ 生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く）でも御覧になれます。

・ 録画中継は、生中継の4日後（土・日曜日及び祝日を除く）から御覧いただけます。



市議会中継QRコード

会議録を御覧になる方へ

本会議の会議録は、郡山市ウェブサイト、または次の施設で御覧になれます。

- 市政情報センター（市役所西庁舎1階）
- 中央図書館 ● 希望ヶ丘図書館
- 安積図書館 ● 富久山図書館

なお、令和元年6月定例会の会議録が御覧いただけるのは、9月上旬になります。



「市議会のはなし」



子ども用リーフレット



一般用リーフレット

市議会のしくみを分かりやすくまとめた「市議会のはなし」を発行しています。

編集 後記

今号の表紙写真は、ポンプ性能検査を行う郡山市消防団です。

日々の安全・安心のため、災害時に備え、ポンプ車の性能検査に取り組む消防団の皆さんの姿は、頼もしい限りです。

本市は、7月1日付けで、内閣府「SDGs 未来都市・自治体SDGs モデル事業」の選定を受けました。SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に向け、「災害に強い安全なまちづくり」を、市民の皆様と協働で進めていきましょう。

今号で現編集委員での作成は最後になりますが、今後もよりよい市議会だよりを目指したいものです。（八重樫）